

Luxman

PHONO AMPLIFIER

E-1

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのフォノ・アンプリファイヤーE-1をお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

目次

使用上のご注意	1
各部の名称と用途	2
接続方法および接続図.....	4
E-1 BLOCK DIAGRAM	6
規格.....	7
アフターサービスと品質保証について	8
修理に出される前に	9

アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。

とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

カートリッジ接続時のご注意

カートリッジを取りつけたシェルやトーンアームと本機のグラウンド端子を接続してください。

接続が不完全ですと、ハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。

また本機の入力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。

出力機器接続時のご注意

本機とコントロールアンプまたはプリメインアンプを接続するときには、本機および出力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。電源が入っていると、大きな雑音が発生することがあり、故障の原因にもなります。また、本機の出力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。コントロールアンプなどの入出力端子に差し込むピンプラグも同様です。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生しS/N比が悪化する原因になります。

電源 ON 後すぐには音は出ません

本機には出力を中断するタイム・ミュート回路が組み込まれているため、電源 ON 後すぐには音が出ません。(本機の場合、パワー・インジケータが橙色に点灯して準備動作中であることを示します)

一定時間経過するとパワー・インジケータが青色に点灯し動作状態になります。このあいだにコントロールアンプなどの音量ボリュームを大きく右に回していると、急に大きな音が出てくることになります。音量ボリュームは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

各部の名称と用途

1. 電源スイッチ (POWER)

電源を ON/OFF するスイッチです。配線、接続時には必ずスイッチを OFF にしてください。

2. パワー・インジケータ

電源スイッチを ON にすると橙色に点灯し準備動作中であることを示します。一定時間経過後、青色に点灯し、動作状態になったことを示します。

橙色に点灯中は、出力ミューティングが作動し、音はでません。

コントロールアンプなどの音量ボリュームは、必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

3. 入力セレクター・スイッチ (input)

入力端子 1 と 2 の切換えスイッチです。

- 1 : 入力端子 1 を選択
- 2 : 入力端子 2 を選択

4. MM/MC セレクター・スイッチ (MM/MC)

ご使用のカートリッジの種類によって選択します。

- MM : MM カートリッジおよび出力が数 mV ある高出力 MC カートリッジの場合。
- MC : MC カートリッジの場合。入力感度は 0.2mV です。

5. インピーダンス・セレクター・スイッチ (impedance)

ご使用になるカートリッジのインピーダンスによって、アンプの入力インピーダンスを合わせる必要があります。

本機は、このインピーダンス・セレクター・スイッチにより、アンプの入力インピーダンスを選択することができます。

ポジションは、MM・MC それぞれ、Low、mid、high の 3 つあり、アンプの入力インピーダンスの値が表に示すように変化します。カートリッジの取扱説明書に書いてある適合入力インピーダンスに従って選択するか、好みの音質になる様に選択してください。

	low	mid	high
MM	34kΩ	50kΩ	75kΩ
MC	28Ω	106Ω	560Ω

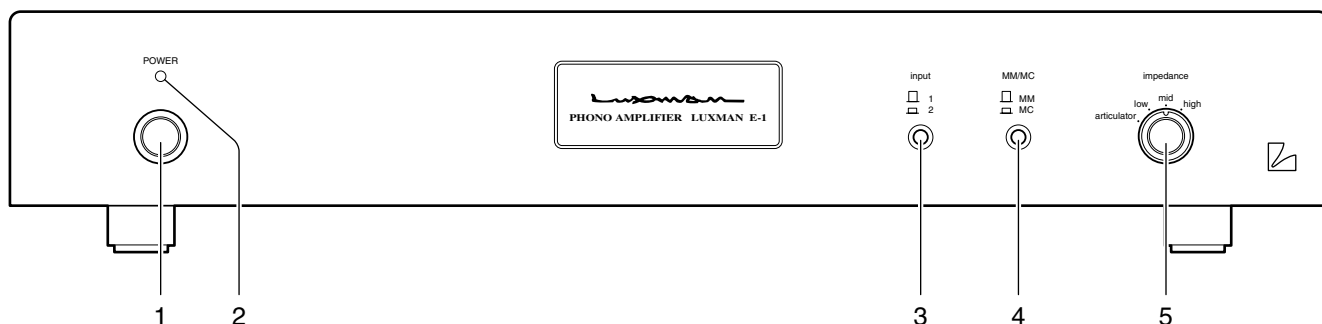
アーティキュレーター (articulator)

アーティキュレーターとは調律の意味です。

このポジションにしてカートリッジを数十秒はしらせるだけでレコードに記録された音楽が、カートリッジの再生能力をその音楽に最適になるように調律していきます。

いつもお聞きの音楽が、どうもはっきりしない、音の立ちが悪い、楽しくない、とお感じの時にこの機能を使用しカートリッジを生きかえらせて下さい。

アーティキュレーター・ポジションでは、再生中音が出ないか、非常に小さな音になります。これは、カートリッジの調律中であることを示しています。この時アーティキュレーター・ポジションをはずすと急に大きな音になりますので、コントロールアンプ等の音量ボリュームを大きくしないでください。また、アーティキュレーターは、曲の終り付近で曲の終りまで行なうことをおすすめします。



6. シグナル・グラウンド (SIGNAL GROUND) (アース端子)

本機に接続する機器のアース用端子です。この端子は他の機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのもので、カートリッジを取りつけたシェルやトーンアームと接続します。安全のためのアースではありません。

7. 入力端子 1 (INPUT 1)

トーンアームから出力される RCA ピンケーブルの入力端子です。

8. 入力端子 2 (INPUT 2)

トーンアームを 2 本ご使用の場合、あるいはレコードプレーヤーを 2 台ご使用の場合に、もう 1 本の RCA ピンケーブルのための入力端子です。

入力セクター・スイッチにより INPUT 1 と 2 の選択が可能です。

9. 出力端子 (OUTPUT)

本機の出力端子で、コントロールアンプやプリメインアンプのライン入力端子に RCA ピンケーブルを使用し接続します。

フォノ (PHONO) 入力端子に接続するとアンプを破損する恐れがあります。必ずライン入力端子に接続してください。

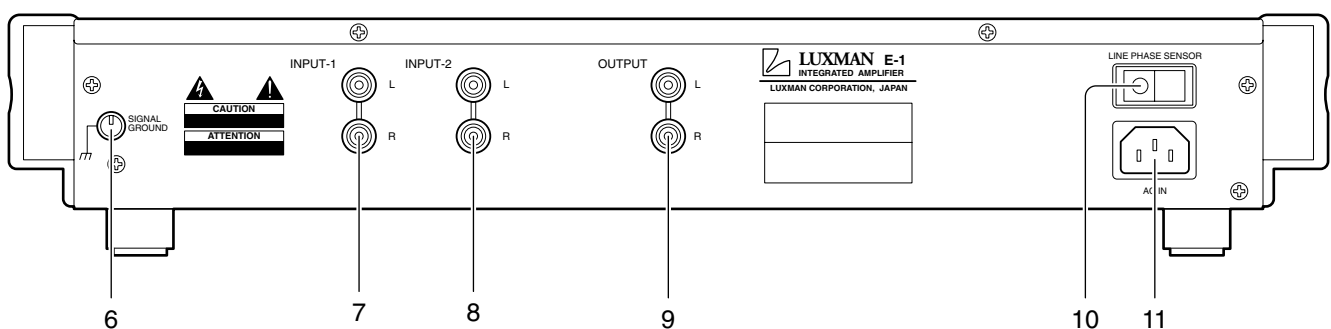
10. ライン・フェーズ・センサー (LINE PHASE SENSOR)

電源ケーブルを AC コンセントに差し込むときに、電源の極性を確認するセンサーとインジケータです。電源ケーブルを AC コンセントに差し込んだあとに指でセンサーに触れ、インジケータが消えたままであれば正常な極性です。インジケータが点灯する場合は、電源プラグのコンセントへの差し込みを逆にしてください。

電源極性のチェックは他の機器との接続前に行ってください。マンションなど、電源がフローティングされている場合は、極性が変化しないこともあります。この場合は、どちらの方向でもかまいません。

11. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。



接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が3つある方）を本機のACインレットに接続してください。

接続するときは、おもわぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源スイッチと入出力機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、ACプラグをリスニング・ルームなどにあるAC100Vのコンセントに差し込んでください。電源ケーブルを差し込むときには、ライン・フェーズ・センサーを指先で軽く触れ、インジケータが消える方向に差し込んでください。（マシジョンなどのコンセントではACプラグを差し替えても点灯したまま、消えたままのことがあります。この場合、どちらの方向でもかまいません）

カートリッジの接続

- 1) カートリッジを取り付けたトーンアームから出力されるRCAピンケーブルのピンプラグを本機の入力端子1あるいは入力端子2に差し込みます。この時、Lチャンネル、Rチャンネルを間違わないように確実に差し込んでください。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生しS/N比が悪化します。
- 2) カートリッジを取り付けたシェルやトーンアームと本機との間でアースをとる必要があります。トーンアームから出力されるピンケーブルと平行して出ているアース線を本機のグラウンド端子に確実に取り付けてください。これが不完全ですとハムなどの雑音が発生しS/N比が悪化させます。

- 3) 入力端子1に接続したカートリッジで音楽をお聞きになる場合は、入力セレクター・スイッチで入力端子1を選択してください。同様に、入力端子2に接続したカートリッジで音楽をお聞きになる場合は、入力セレクター・スイッチで入力端子2を選択してください。

フォノ・イコライザー内臓のレコードプレーヤーの出力は、本機に接続しないでください。アンプがクリップして歪むだけでなく故障の原因となる場合があります。

フォノ・イコライザー内臓のレコードプレーヤーの出力は、コントロールアンプなどのライン入力に接続してください。

出力機器の接続

- 1) 本機の出力端子とコントロールアンプやプリメインアンプのライン入力端子をRCAピンケーブルでLチャンネル、Rチャンネルを間違わないように確実に接続します。

この時、ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生しS/N比が悪化させますので、奥まで確実に差し込んでください。

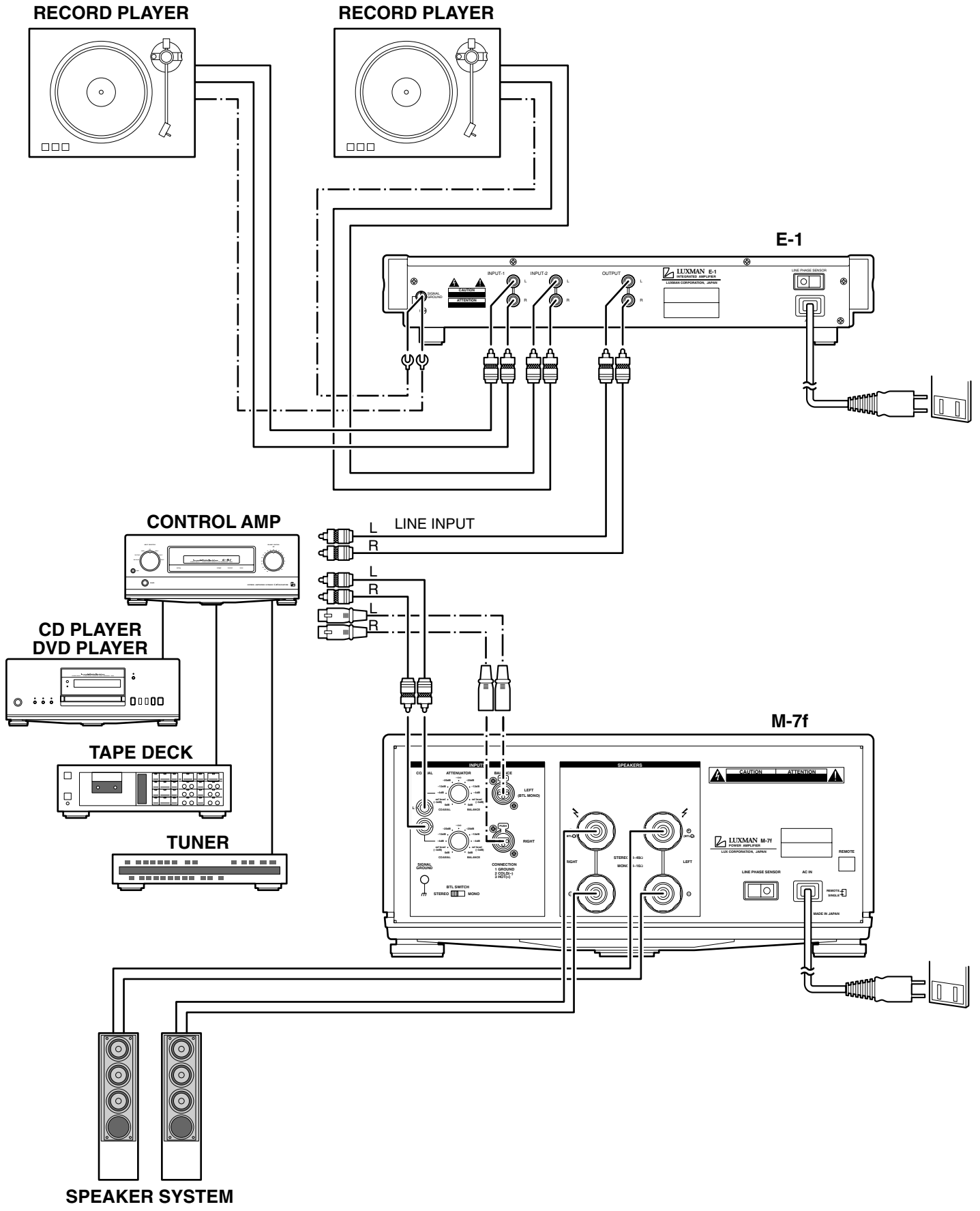
- 2) コントロールアンプやプリメインアンプのフォノ（PHONO）入力端子に本機の出力端子を接続しないでください。コントロールアンプなどのフォノアンプがクリップして歪むだけでなくアンプが破損する恐れがあります。必ずライン入力端子に接続してください。

- 3) 本機には、音量調節機能がないので、音量調節は、接続したコントロールアンプやプリメインアンプの音量ボリュームにより行なってください。

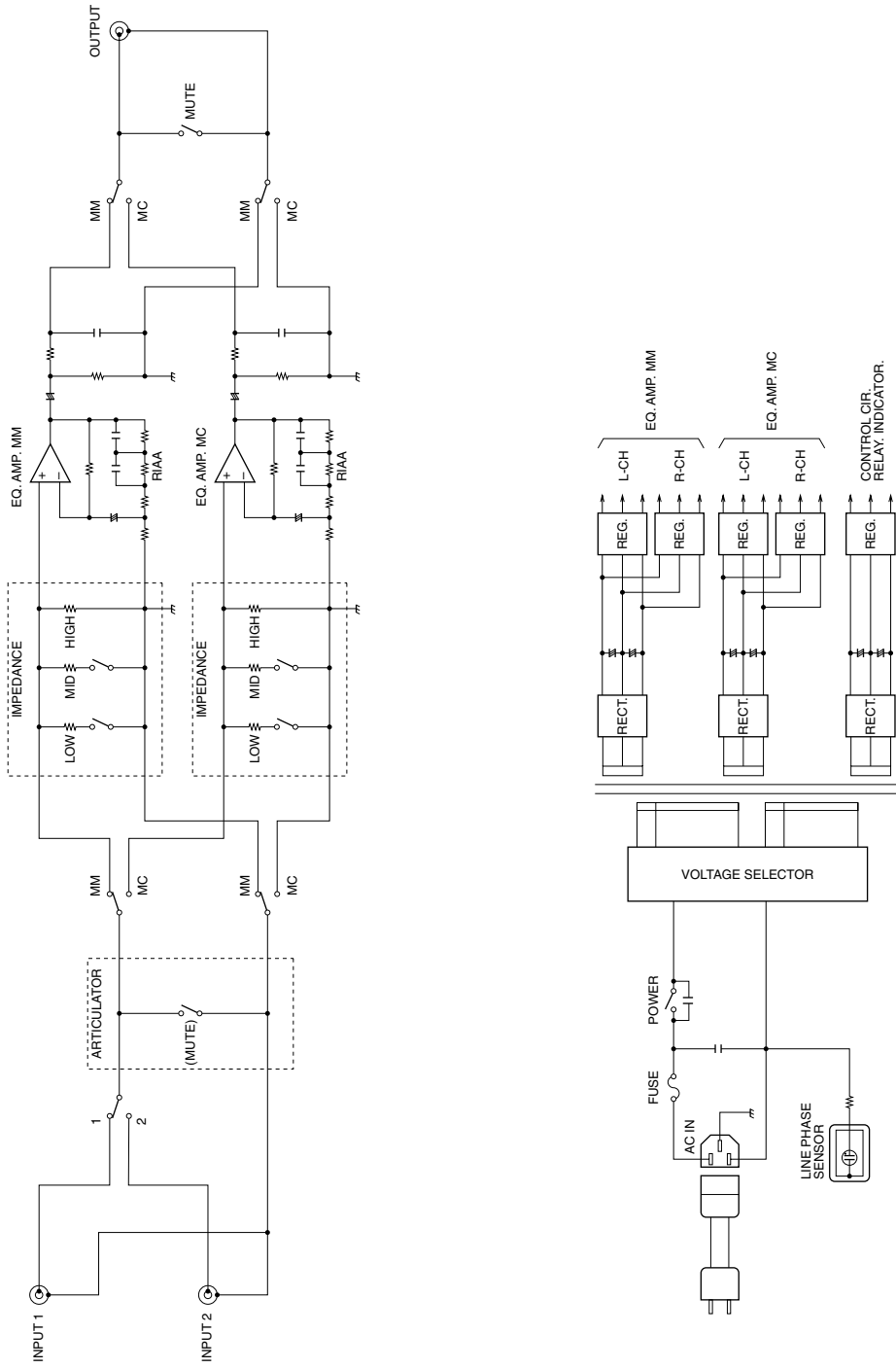
接続時には、この音量ボリュームは、左に絞りきっておいてください。右に回わしきっていると、電源をいれて音楽を聞いたとき、大きな音が急いで、スピーカーなどを破損させる恐れがあります。

必ず、音量ボリュームは、左に絞り込み、音楽が聞こえてから、お好みの音量に調節してください。

接続方法および接続図



E-1 BLOCK DIAGRAM



E-1 Block Diagram

方式	MM・MC 独立 NF 型イコライザー	
入力感度	MM	: 4 mV
	MC	: 0.2 mV
インピーダンス	MM・LOW	: 34 kΩ
	MID	: 50 kΩ
	HIGH	: 75 kΩ
	MC・LOW	: 28 Ω
	MID	: 106 Ω
	HIGH	: 560 Ω
利得	MM	: 36 dB (1kHz)
	MC	: 62 dB (1kHz)
RIAA カーブ偏差	± 0.2 dB (30Hz ~ 20kHz)	
	± 0.5 dB (20Hz ~ 100kHz)	
出力電圧	250 mV (1kHz)	
出力インピーダンス	230 Ω	
S/N 比	MM	: 103 dB (IHF-A カーブ)
	MC	: 83 dB (IHF-A カーブ)
チャンネルセパレーション	90 dB 以上 (10kHz)	
付属装置	<ul style="list-style-type: none"> • 入力セレクター・スイッチ • MM/MC セレクター・スイッチ • アーティキュレーター • 入力インピーダンス・セレクター・スイッチ • 電源スイッチ • パワー・インジケーター (ミュート・インジケーター) • シグナル・グラウンド端子 • COAXIAL 入力 (RCA) 2 系統 • COAXIAL 出力 (RCA) 1 系統 • AC イン • ライン・フェーズ・センサー 	
付属品	専用電源ケーブル, 安全上のご注意, 取扱説明書, 保証登録書	
電源電圧	AC 100 V (50Hz/60Hz)	
消費電力	11 W (電気用品安全法の規定による)	
最大外形寸法	467(幅) × 82(高さ) × 404(奥行き)mm	
重量	9.0 kg (本体)	

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご了承ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッケージケース内に入っていますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧ください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費等を戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。 電源プラグがACインレットから外れているか、確実に差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。 電源プラグをACインレットへ確実に差し込む。
電源は入るが音が出ない。(音が小さい)	<ul style="list-style-type: none"> 接続が確実に行われていない。 接続した入力端子と入力セレクター・スイッチの設定が合っていない。 コントロールアンプの入力セレクターが合っていない。 コントロールアンプのボリューム・コントロールが絞り切られている。 使用しているカートリッジの種類とMM/MCセレクター・スイッチの設定が合っていない。 アーティキュレーター・ポジションになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続を確実に行う。 入力端子と入力セレクター・スイッチを正しく合わせる。 コントロールアンプの入力セレクターをセットし直す。 コントロールアンプのボリューム・コントロールを調節する。 MMを使用している場合はMMに、MCを使用している場合はMCに、MM/MCセレクター・スイッチを合わせる。 ボリュームを絞り、適正入力インピーダンスに合わせ、音が出てからボリューム・コントロールを調節する。
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 接続ケーブルのアース側が接触していない。 シェルやトーンアームのアースが浮いている。 他機器の電源トランスから誘導ノイズを受けている。 接続ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続を確実に行う。 シェルやトーンアームのアースを確実にグラウンド端子に接続する。 他機器から離して設置する。 接続ケーブルと電源ケーブルを離す。
音の定位がおかしい。低域が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> LチャンネルとRチャンネルが逆に接続されている。 入力インピーダンスの設定がカートリッジに合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> LチャンネルとRチャンネルを正しく接続する。 正しい入力インピーダンスに合わせ直す。



ラックスマン株式会社

本社 〒105-0022 東京都港区海岸 2-5-23

AG00987C10A
Printed in Japan